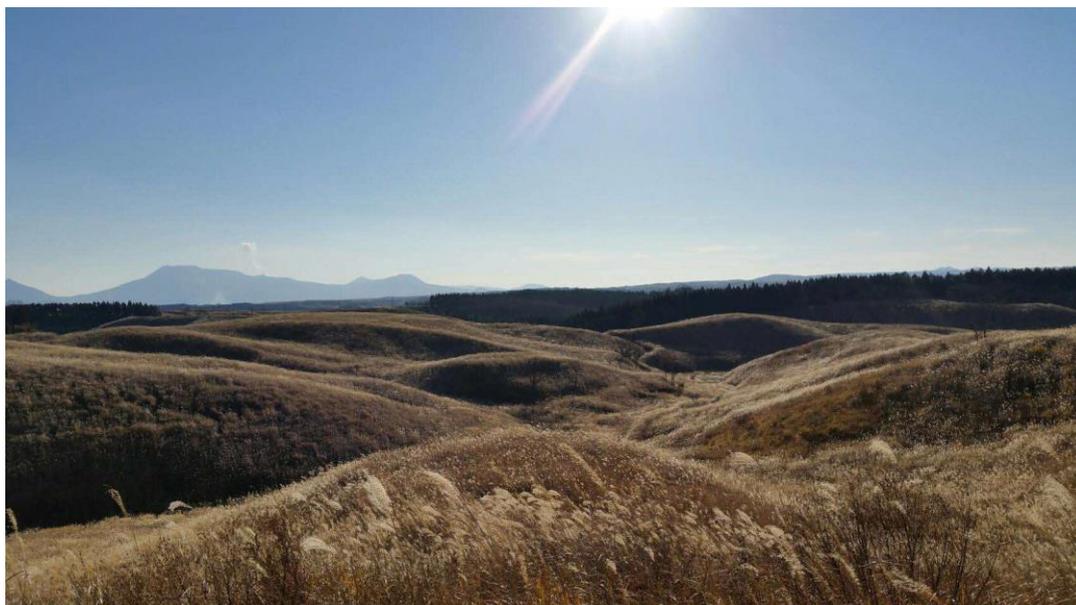


# 協会だより



南小国町 瀬の本の草原と少しだけ阿蘇山の写真

令和6年（2024年）2月発行

熊本県公立学校事務職員協会

担当：阿蘇・大津地区



## 「はじめての協会だより」

熊本県立大津高等学校  
事務職員 竹尾 皆子  
事務職員 中山 玲奈

今回は、協会だより作成未経験者の竹尾、中山が共同で作成することとなりました。最後まで読んでいただけたら嬉しいです。

### ○自己紹介

#### 中山

今年度異動してきました事務職員の中山玲奈と申します。令和2年度採用で、今年度が4年目で今回が初めての県立学校です。主に、給与・旅費・人件費等を担当しています。昨年から一人暮らしを始めたので、毎日充実した時間が過ごせています。

#### 竹尾

今年度採用1年目の竹尾皆子です。主に支援金・収入・備品等を担当しています。車を持っていないので、JRで生徒に混ざりながら通勤しています。朝は早いですが、音楽を聴いたり、本を読んだりできるので意外といい時間が過ごせます。

### ○約10か月を通して…

#### 中山

異動前に「義務制と県立は全然違うらしいよ…」と、何度か耳にしていたので覚悟はしていましたが、同じ業務でも処理方法が所々違うものや、全く違うものもあって驚くことばかりでした。4年目なのに1年目のような感覚で、異動してすぐは毎日の業務をこなすことで精一杯でしたが、事務長先生をはじめ事務室の先生方が優しくサポートしてくださり、とても感謝しています。

#### 竹尾

4月に働き始めて、7月くらいまでは毎日初めての作業が何かしらあったり、緊張していたりで、あっという間に過ぎていました。2学期が始まってようやく少しずつ慣れてきた気がします。大津は県外生も多く、提出物や授業料の徴収など複雑な部分もありますが、初めての勤務先が、珍しい経験ができる大津高校で良かったなと思います。

○趣味

**中山**

趣味は韓国ドラマを見ることです。コロナ禍で時間を持て余していたときになんとなく見始めたドラマに衝撃を受け、それ以降、韓ドラの沼にどっぷりとハマってしまいました。昨年末は念願叶って、イチオシの俳優さんが来日して行ったファンミーティングにも行くことができました！

**竹尾**

・インドア派なので、休日はアニメを観たり、ゲームをしたりすることが多いです。プロジェクターを買ってからは、QOLが凄く上がりました！おすすめです。  
・動物も好きです。来年引っ越して猫を飼おうと思っていましたが、何だかんだ、ハムスターになりそうです、早くお迎えしたいです。

○最後にひとこと

**中山**

まだまだ慣れないことばかりでご迷惑等お掛けすることがあるかもしれませんが、日々学びながら頑張っていきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

**竹尾**

もうすぐ年度が変わるなんて、信じられない気持ちです。今年は周りの方に助けていただければかりで、感謝の気持ちでいっぱいです。来年は自分も周りの方のサポートが出来るように、より一層頑張っていきたいと思います。



## 「公私混同…ではありません」

熊本県立翔陽高等学校  
事務長 有働 将人

本校管理棟1、2階のフロアには立派な観葉植物たちがずらりと並んでおり、オアシスのような緑豊かな空間となっています。持ち主は今年度赴任された技師の高見先生です。

高見先生の観葉植物に対する深い知見と熱い思いに触発され、事務室の職員も全員観葉植物を育て始めました。事務職員協会の皆様にも観葉植物の世界にぜひ触れてもらいたいと思い、高見先生から以下のとおりお話をいただきました。

十数年前、趣味で等身大のインテリアグリーンを作りたいとの思いから始めました。ダイソーで購入した数種類の観葉植物も現在は胸の高さあたりまで成長し、数は13種類の30鉢程度まで増えています。そんな観葉植物たちは、越冬のため、翔陽高校の1、2階の明るいフロアを占拠しています。(※一応管理職には許可は得ています。)

事の発端は13年前まで遡ります。当時暮らしていた人吉の質素な部屋にインテリアグリーンが欲しいと思いつつも、園芸店では高価すぎて手が出ません。そのとき目に留まったのがダイソーのミニ観葉植物でした。どうせ育てるなら大きく育てて元値以上の価値のある物にしてみようという遊び心が芽生えたのです。

無論、当初は植物管理も失敗の連続。植物の特徴もよく理解せず、日光の当たらない室内で育てるため、植物は弱り育つはずありません。そんなとき「NHK 趣味の園芸大事典」という本に出会いました。もともと農業高校卒業なので、多少の知識はありましたが、それ以上に培養土の配合や植物の原産地、生育環境など新しい知識を徹底的に叩き込むこととなり、自身が理想とする「排水性と保水性が両立する通気性の良い土」の土づくりと植物の管理のためかなり苦労しました。その甲斐あってか、今では植物の容姿を見て健康状態を見分けられ、最初買ったパキラやクワズイモも13年目を迎えずくすくと育っています。

ところで、植物が大きくなることは喜ばしい反面、困った問題もあります。今ある植物は比較的暖かい東南アジア原産の植物が多く、冬の寒さに弱いのです。これだけの植物を室内で管理することは困難であるため、家族に相談したところ、妻からは「ここは温室ではありません」、長女からは「部屋をジャングル化するつもりか!」と言われ室内での越冬は即却下となりました。そこで思いついたのが、学校の明るい玄関へこっそり越冬移住させる計画。数週間かけて移動させました。(当時は〇〇農業高校勤務。)

玄関に展示した植物は意外と好評で、来客の方々に、元はダイソーのミニ観葉植物であることを伝えると大変驚かれました。また、来客の方から「学校で生産しているのか?」「譲ってもらえないか」など声をかけられたこともありました。

観葉植物の良いところは、空間に潤いを与え、空気を浄化するとともに、癒しの効果

や年中見て育てて楽しめる点だと思います。手入れの手間と引き換えに植物は私に癒しと充実感を与えてくれます。そういう意味では、私は植物と共存共栄しているのかもしれない。

最後に、趣味で始めた観葉植物が人に認められ喜ばれるのであれば、これほど幸せなことはありません。ダイソーには稀にレアな観葉植物が入荷することがありますので、皆様も一度育ててみてはいかがでしょうか。



クワズイモ



シンゴニウム



シンゴニウム(葉がピンク色 ver)



ステレオスペルマム



フィカスアルテシマ



フィカスウランベータ(保健室で療養中)



ゴムの木



柏ゴムの木



シルクジャスミン



シダ



パキラ



文中に登場した13歳のクワズイモ

## 「学校紹介」

熊本県立大津支援学校  
事務主査 堺 恵美子

大津支援学校は、小学部、中学部、高等部からなる、生徒数166人の知的障がいをする児童生徒のための学校です。職員は90人以上います。

支援学校の生徒数増加による過密化解消のため、熊本県内の支援学校は増設や増築による対策がされています。本校も、教室数が足りずにプレハブ棟を建てたり、間仕切りをして教室数を増やしたりと、その場の対策でしのいでいたところですが、この度、新高等部棟が建築されることになりました。

現在建っている、高等部作業棟等を撤去して、新たに3階建ての新高等部棟が建設される予定です。

今年度（令和5年度）は、建設場所の決定、建物内の部屋の配置や一部屋のレイアウト等の設計を行っています。営繕課、施設課、設計事務所、学校で何度も話し合いを実施し、よりよい建物をと考えているところです。

スムーズに進んだ場合は、来年度（令和6年度）、現建物の解体撤去が行われ、仮校舎が立ち、令和7年度は工事、そして、令和8年度に新高等部棟の供用開始を目指しています。しかし、これは現時点での予定なので、いろいろな状況の変化により日程は変わるかもしれません。

本校は、もともと敷地が狭いため、職員は運動場に車を駐車している状態ですが、工事期間中は、仮設校舎が運動場に建設されるため、職員の駐車スペースもなくなります。その期間、歩いて8分ほどの近隣の学校に駐車場をお借りする予定です。

そんな中、TSMCの進出による、地域の状況の変化により、学校の前の道路が2車線化するという拡張工事にかかり、本校も影響を受けるような話もでてきています。（熊本県による住民説明会実施済み）

大津支援学校は、いつまでも変わらないような気がしていましたが、今ちょうど、変化している時のようです。これからの数年できっと大きく変わっていくのではと思います。

こんなやりがいのある大津支援学校で是非、働いてみませんか。

## 「～特別会計を担当して～」

熊本県立阿蘇中央高等学校  
事務職員 松尾 奈於

令和3年度に採用され、現在の学校が初任校となります。何もわからない状態からスタートし、あっという間に3年目を迎えました。未だにわからないことばかりの日々ですが、周囲の先生にサポートいただきながら業務に取り組んでいます。

私は2年目から特別会計を担当するようになり、マニュアルもなく、特殊な業務が多い中で仕事の進め方に悩むことも多々ありました。今回協会だよりを書くにあたり、何を書こうか迷いましたが、今後同じような業務を経験する方の参考になればと思い、この機会に特別会計の中でも特に印象に残った業務についてお話ししたいと思います。

私が特別会計の中で一番印象に残った業務は、せり(競売)で牛を購入したことです。担当の先生から連絡をいただいた時、せり(競売)で購入?…どうやるんだろうと全く想像ができませんでした。予定価格はどうやってたてるのか、そもそも支払はどうやって行うのか、学校がせり(競売)にどのように参加するのか等わからないことばかりでした。調べていくと、過去に阿蘇中央高校でせり(競売)に参加し、購入した実績はあったようなのですが、かなり前の話でその時の書類もデータも残っていませんでした。また、他校の農業高校の先生に聞いてみると今はその当時のやり方では購入できないと聞き、さらに悩んだ記憶があります。結局は沢山の方に教えていただきながら、何とか購入まで行うことができましたが、初めてのことばかりでとても学びが多い業務でした。せりの様子も生配信されているので、学校から実際の現場を見れたのもとてもいい経験になりました。もし今後せり(競売)に参加される所属がありましたら、ご相談いただければと思います。

最後に現在の勤務校である阿蘇中央高校について少し紹介をさせていただきます。

阿蘇中央高校は、阿蘇高校と阿蘇清峰高校が再編・統合し、設置された2校舎制の学校です。通勤路や校舎からは阿蘇の山々が見渡せ、赴任して3年程経った今でもその景色に感動します。特に冬の雪が積もった山は綺麗ですが、それと同時に路面凍結への不安や水道管の凍結の心配が生まれます。今年は今のところ大きな被害はないので、このまま無事に冬を乗り越えられることを願っています。



【校舎から見える阿蘇の景色】



【牛の出産時の写真】

## 「事務をつかさどる」ということ

熊本県立小国高等学校  
主任事務長 永野 亜紀子

いわゆるバブル時代と呼ばれる1990年度に採用され、ずいぶんと時間が経ってしまいました。初任校の旧菊鹿町立六郷小学校から、途中2回育児休業を取得しましたが、5校23年間を小中学校の義務制で勤務してきた私が、平成25年度に県立阿蘇中央高等学校の事務主査として異動後、1年で再度新しく設置された阿蘇市立阿蘇中学校の学校事務センターの事務長になり、その3年後に今度は県立小国支援学校の事務長に、またその4年後、現在の小国高等学校の事務長になっているとは、予想だにしていませんでした。県立学校での勤務は、約8年目。経験不足、勉強不足と感ずることが多く、経験年数は重ねたものの、学ぶべきものは尽きません。

採用当時は、初任者研修もきちんと整備されたマニュアルもなく、いきなり学校に配属されて教科書代わりの前任者の書類を見ながら仕事をこなしていました。その時の前任者は、施設の修理から事務処理、全クラスの学級会計まで何でもこなす、オールマイティーなベテランの事務職員で、周りの職員は、新任のわたしにすべてとは言わないが「事務職員だから、これくらいのことはできるでしょ。」という期待をもって接してこられました。

小中学校で勤務された経験がある方ならよく分かると思いますが、ほとんどの学校が単数配置であり、電話対応やお茶くみ、水回り周辺の片づけなどなど、いわゆる“名前のつかない仕事”雑務とよばれる作業を含めて当然事務職員にまわってくるのが常でした。

だからでしょうか、義務制の研究団体で昔から課題と言われていた「職務の明確化」の言葉は、何もわからなかった私にとって、事務職員の職務って何なのだろうか？ 明確化することでそれ以外は、やらなくてもいいということなのか？ しかし、誰かがやらなくてはいけない仕事であり、何でも文句を言わず、そつなく仕事することが、「良い事務職員」なのか？ 属人的評価で事務職員を語られるのも、疑問でした。しかし、単数配置ゆえに事務職員の業務に誰も手助けをしてくれることもなく、職員会議で予算関係の発言をしても、指導や教育効果に関することが優先事項の1番。当たり前といえば、そうかもしれませんが、予算のことなど2の次、3の次。事務職員の職務って「？」疑問を多く抱いていた初任校での3年間でした。

その後、平成15年頃から小中学校において「共同実施」が試行後、県下で組織化されました。経験の浅い職員が配置された学校において、給与や旅費関係書類、財務関係のミスが発生しやすいことやOJTを含めて単数配置の課題解決を目指すものでした。

しかし、ここでも幾つかのハードルがありました。今まで自分のやりやすいように仕

事を進めていた事務職員から、処理の流れや書式を変えることに抵抗があったり、電話対応のために学校を出られず、共同実施に出席できなかつたり・・・。

このことは、平成26年度から始まった学校事務センターでも同様でした。義務制で初めての事務長として何から手を付けてよいのか分からず、地教委の担当者から組織設置の目的や取扱規則の改正について説明を受け、連携校に赴き各学校の校長先生及び事務職員から課題やニーズを聞き取り、何とか取組を始めましたが、複数の学校、重点項目、管理職の意向がある中で、それぞれの方向性、ベクトルを合わせることは難しい作業でした。

当初、4地区からスタートした学校事務センターは、現在21地区に増えています。各地区それぞれに工夫・改善を重ね、その効果や実績が認められた成果だと思えます。学校事務センター初代の事務長4名のうち、私以外は既にご退職されていますが、私がその後県立学校に異動したことで、同様に異動するのではないかと心配されていたと後で伺いました。教育行政（教育事務）職で採用された皆さんも、ジョブローテーションで異動することに不安がある方も多いと思えます。でも、大丈夫です。決して高いスキルを持っている訳ではないけれど、色々な方からの支えで何とかやっています。我が子にもよく言うことですが、「初めてやるのが、いきなり上手にやれるわけがない。何回も繰り返してやるから、だんだん上手になるんだよ。」と。私自身も失敗から学んだことは沢山あります。

それは、採用されて7年目に小規模の小学校から初めて200名を超える阿蘇中学校に赴任した時のことです。前任の事務職員は、学校徴収金のうち給食費会計を担当していましたが、未納問題の処理が大変で、私のことを思って、給食費会計は事務職員には引き継がないと宣言して異動されました。

私自身もやれるかどうか不安で、「私がやります。」とは言えず、職員会議が停滞していたところ、当時の教務主任が手を挙げました。今、考えてもおかしな話です。でも、一言も私に苦言を言わず、やり通してくださいました。その時の後悔から、平成20年度に赴任した長陽中学校では、給食費会計や学年費、PTA会費を含め学校徴収金の徴収事務を一元化し、共同実施の業務として関係校すべてで取り組みました。

徴収金の内容確認から金額の設定、口座振替手続きなど、一人で行うには大変な作業でしたが、やっていくうちに生徒の名前と顔が一致し、保護者の名前がつながり、未納の件で担任や保護者と話をすることで、家庭の状況が把握でき、就学援助費の手続きをお勧めするなど、自分自身の業務内容が今まで、（対：教職員）だったのが、（対：生徒・保護者）と視野が広がっていくのを感じました。それから更に、共同実施において配付文書の統一化、毎月の引き落とし金額の相互確認を行ったことで、兄弟関係の把握、事務処理の効率化と広げていきました。その取り組みを、当時流行していた『もし、高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』を真似したサブタイトルをつけ、熊本県学校事務研究協議会で研究発表を行い、また阿蘇郡市教育論文にも応募したことは、大変だったけれど、楽しかった思い出の一つです。

学校事務職員の職務は、学校教育法第37条第14項に「事務職員は、事務をつかさ

どる」と明記されています。「つかさどる」という言葉は、とても分かりにくいけれど、私は“情報を把握する”ということではないかと考えています。

毎日事務室で行われる電話や来客対応、RPA化された文書受付作業でも、校務分掌や学校行事等の情報を把握していないと対応できません。県立学校の財務処理は、義務制での処理内容に比べて大変難しいと思いますが、市町村における学校予算は、余程の事が無い限り節内流用程度の変更しかできないことに対し、県立学校の学校裁量予算は学校重点項目や状況に合わせて運用できる柔軟性があります。

学校における情報を把握し、予算を運用、執行することや児童・生徒に接し、その成長を感じることで、自分自身のやりがいにつなげることが学校で勤務する醍醐味だと思います。

役職定年まであと〇年、情報把握に努め、子どもたちのため何ができるかを模索しながら、頑張っていきたいと思います。



生徒考案：あそにゃん

## 「高森高校学科改編のご紹介」

熊本県立高森高等学校

主任事務職員 山口 翔吾

高森高校勤務4年目の山口と申します。球磨工業高校3年、人吉市立第二中学校3年の勤務を経て、採用10年目となりました。過ぎてみるとあつという間でしたが色々あったなあと思います。いつも多くの方々に支えられ、大変感謝しております。

さて、高森高校は阿蘇南部地域唯一の公立高校として地域の教育・文化の中心的な役割を担ってきましたが、生徒数は年々減少傾向にあり、令和4年度の入学者は20名でした。このような状況の中、令和5年度から学科改編を行い「普通科グローバル探究コース（以下普通科）」と「マンガ学科」として新たな高森高校が始動しました。

普通科は「南郷学」という探究活動の時間が週2時間あり、高森、南阿蘇を中心とした地元の課題発見・解決を目指し活動しています。さらに、2、3年次では「グローバル・プロデュース」という科目を設定してSDGsの視点から国際的、社会的な課題の発見・解決を図る活動に発展させていきます。また本校には高森町のローカルチャンネル「TPC」の特設スタジオがあり、地域→全国→世界に向けた情報発信にも取り組みます。総額700万円を超える本格的な機材や道具（高森町から御寄附いただきました）を使い、高度な動画編集が可能となっています。海外オンライン研修では、海外の現地の方とオンラインで繋ぎ、実際に外国の方と交流しながら知見を広げていきます。

マンガ学科は全国公立高校初の学科としてスタートしました。2021年9月にコアミックス社、高森町、熊本県教育委員会、高森高校の4者協定が結ばれ、今年度の開校へ向けて準備してきました。事前の宣伝効果もあり、全国から受験生が集まり初年度から入試倍率は1倍を超えました。マンガ学科の専門授業ではアナログ作画から最新機器を使用したデジタル作画など基礎から応用までマンガのノウハウを学ぶことができます。こちらも最新機器を高森町から御寄附いただきました（最新のiMac等総額1600万円超え）。また、コアミックス社からプロの漫画家の先生や編集者の方が指導に来られます。コアミックス社は「キャッツアイ」や「シティーハンター」の北条先生や「北斗の拳」の原先生などが所属される出版社で、社長は週刊少年ジャンプ元5代目編集長の堀江信彦様です。時には堀江社長が直々に授業に来られることもあります。さらに本校マンガ学科の生徒はコアミックス社のアーティスト育成施設「アーティストビレッジ阿蘇096区」へ行き、学ぶこともできます。

今年度はなんと阿蘇ロックフェスティバルと高森高校でコラボを行いました。本校マンガ学科生徒考案のゆるキャラ「あそにゃん」は着ぐるみ化され、フェス当日は生徒が

交代で中に入りフェスを盛り上げました。ステージに出演していたきゃりーぱみゅぱみゅさんなどからも「ゆるキャラがいる～！」といじられていました。

また、各アーティストの登場前に流れるアタック映像では、事前に本校生徒が描いたアーティストイラストが動画編集され、流れました。阿蘇ロックフェスティバルのHPでいくつかは今も見ることができるので、よければご覧になってみてください。

普通科の生徒は地元の飲食店に御協力いただきブースを出店し、生徒考案の高菜バーガーの販売を行いました。私も食べましたがとっても美味しかったです！

さらに本校生徒考案の本格的カードゲーム「マイアース」に参加できるブースも出しました。マイアースは多くの人に地球温暖化について考えてほしいという思いから誕生しました。

長くなりましたが、他にも「ナニコレ珍百景」の取材が来るなど新生高森高校盛り上がっております。私もあとどれくらい高森高校にいれるか分かりませんが、皆さんもぜひ高森高校に異動希望出されてみてください！遠いイメージかもしれませんが、大津町からは30分、市内からは1時間で通勤できます。さらに高森高校の職員になれば以下の特典があります！！

特典①：図書館にマンガが豊富にあります！

…マンガは一夜貸しですが、週末や連休前は大量に借りて一気に読みができます！ジャンル様々取り揃えてあります！

特典②：マンガ学科の生徒と仲良くなるとイラストを描いてくれます！

…特に推しが被ると嬉しくて推しの絵をプレゼントしてくれます！私も某バスケットマンガの炎の男とNo. 1ガードのイラストをプレゼントして貰いました！

皆さんに高森高校の魅力が少しでも伝わっていれば幸いです。今年度も残りわずかですが、お互い体調に留意し新年度へ引き継ぎましょう。ありがとうございました。



校長室前で威圧的にたたずむあそにゃん



生徒考案カードゲーム

「マイアース」



## 「県立学校勤務1年目」

熊本県立小国支援学校  
事務職員 佐藤 虹夏

私は今年度小国支援学校に赴任し、初めて県立学校に勤務することとなりました。採用7年目ですが、初めてのことも沢山経験した1年目でした。特別大きな出来事はありませんが、私の1年目のお話しをしたいと思います。

### ○学校のこと○

4月は初めての学校勤務に緊張や戸惑いがありながら、毎日の業務をこなすのに精一杯でした。

今年度はすぐに取り掛からなければならない工事があり、電子入札等不安がありましたが、なんとか工事を終えることができました。

徐々に学校勤務にも慣れてきて、今は児童・生徒の皆さんと関わる時間がとても楽しいです。

朝の登校時間は「おはようございます！」と明るい挨拶が飛び交い、昼休みは時間があるときは子供たちと一緒に散歩をしたり、鬼ごっこをしたりしています。

本校は部活動でフロアホッケーを行っています。フロアホッケーは室内で行う競技で、性別、年齢、障がいの有無に関わらず誰でも楽しむことができるスポーツです。私も初めて体験しましたが、子供たちに混ざって全力で走り回り、翌日は筋肉痛になりました。

生徒数の少ない学校ですが、小学部から高等部まで交流が深く、修学旅行や部活動の大会の際に全校生徒で出発のお見送りしたり、行事を一緒に楽しんだり、温かい雰囲気の学校です。

### ○プライベートのこと○

週末に先生方と小国のお店にご飯を食べに行くことや、一人で温泉やカフェ巡りをすることが最近の楽しみです。

昨年9月には新千円札の顔になる北里柴三郎記念館に新しくシアターホールがオープンしたので、行ってみたいと思っています。

熊本県の中でも端の方ですが、是非小国町・南小国町まで遊びにいらしてください。



雪の日の学校



岳の湯地獄谷温泉裕花



Café Karin

# 編集後記

最後までお読みいただきありがとうございました。

今回の協会だよりは、阿蘇・大津地区が担当させていただきました。

各学校から原稿を送付いただき、一番に読ませていただきましたが、それぞれ全く違った内容の記事で読んでいてとても楽しかったです。

1月下旬に熊本県内で雪が降ったと思いますが、言わずもがな小国も沢山雪が降りました。温暖化の影響か？ここ数年は小国でもあまり雪が積もらないようです。

まだまだ寒い日が続きますが、年度末に向けてお仕事も忙しくなると思いますので、お体に気を付けてお過ごしください。

末尾になりましたが、今回ご協力いただきました阿蘇・大津地区の皆様、ありがとうございました。

阿蘇・大津地区代議員 小国支援学校 事務職員 佐藤 虹夏